

奈良市が奈良県を

行政指導

～前代未聞～

学校耐震化を放置

奈良高耐震化
10年以上放置

奈良市は問題視
避難所指定解除

避難所の指定標識の取外し作業
8月 県立奈良高等学校正門前

県議会・県教委は
耐震化請願を否決

平成29年中に三橋が奈良県教育委員会に対して情報公開条例に基づく行政文書の開示請求をした資料により、県立奈良高等学校の主要建物の耐震性能が、国が定める基準よりも大幅に低い水準にあり、地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされていることが発覚した。

三橋は資料の取得時から十分な調査を重ねた上、県教委に対して、同校について早期の仮校舎の手配と現地建替を求めてきたが、県はこれを事実上無視し続けてきた。

文庫施設の構造耐震指標(Is値)について、文部科学省は「0.7以上」と定めるが、同校の体育館や本校舎は0.05～0.32しかない、専門家は「生徒の命を賭け金にしたギャンブルをしているような状態だ」と批判する。コンクリート強度も著しく低い水準で、補強工事さえ行えない脆弱な状態にあることも判明している。

そこで、奈良市が同校を第二次避難所に指定していったことから、平成30年7月に市長に対してこの問題について文書で質問した。その後も、市議会総務委員会にて追及を続けた結果、市は「避難所としては耐えられない」として、8月28日に避難所としての指定を解除した。

しかし、避難所としても耐えられない耐震性能の施設が、今もなお在校生1,000人を超える県立高校として使用され続けていること自体が理解できない。県教委の姿勢は、人命を軽視したものと糾弾せざるを得ないだろう。

さらに、三橋は、8月31日に、行政手続法に基づいて、耐震改修促進法に基づく行政指導を実施するよう求める文書「行政指導等の求め」を市に提出したほか、市議会本会議などでも、関係法令に則り、速やかに是正指導するよう厳重に求めた。

奈良市が奈良県を
異例の行政指導

これら取組みのほか、三橋は「同校の主要建物について、地震による影響から生徒や教職員等の関係者の生命及び身体を守るために万全を期すことを求める請願書」を県議会に提出していたが、否決された。県教委でも「対策は緊急地震速報の整備や避難訓練などで対応する」などとして、およそ子どもたちの命を預かる機関とは思えない議論が行われ、同様の請願が不採択となった。到底理解できない。

奈良市が同校の耐震化を10年以上放置してきたことが明らかになった。

そして、9月18日に、耐震改修促進法に基づいて、奈良市は、奈良県知事及び県教育長に対して、直ちに耐震化の措置を講じることがを求める行政指導を実施するに至った。

総務省によると、市町村が都道府県に行政指導することは極めて異例で、行政手続法に基づく求めを受けて行われた事例はなく、前代未聞のことだろうという。すなわち、それ程までに、県の対応が杜撰で異常であるということだ。

反対に、県議会も含めた奈良県に対して、人命を軽視してきた対応や未だにこれらの事実から目を背けようとする姿勢について、県民の皆さんはどう思われるだろうか。生徒たちが犠牲になっても彼らは誰も責任を取らない。

奈良市議会議員

三橋 かずし

Mihashi Kazushi



知事や県教委、県議会に対しては、市議会全会一致の意見書も採択しているが、これを無視し続ける県に対して、超党派の市議有志で緊急の抗議声明も発表した。奈良市を変えるためにも、奈良県を変える必要があるだろう。

発行元

奈良市議会議員 三橋 和史

奈良市政News

〈Vol.4〉平成30年秋号

【現】奈良市議会議員(総務委員会)(政党・会派ともに無所属)、奈良市監査委員

【生まれ】昭和63年(1988年)12月22日(29歳)

【学歴】奈良県立奈良高等学校 卒業 明治大学政治経済学部政治学科 卒業 【資格等】平成23年行政書士試験合格 他

【職歴】株式会社南都銀行総合職 奈良県庁行政職(災害対策、行政広報、税務等を担当)

【連絡先】〒631-0842 奈良市菅原町230番地の4シャーマゾンN・T101号 E-mail: sanwakai.km@gmail.com

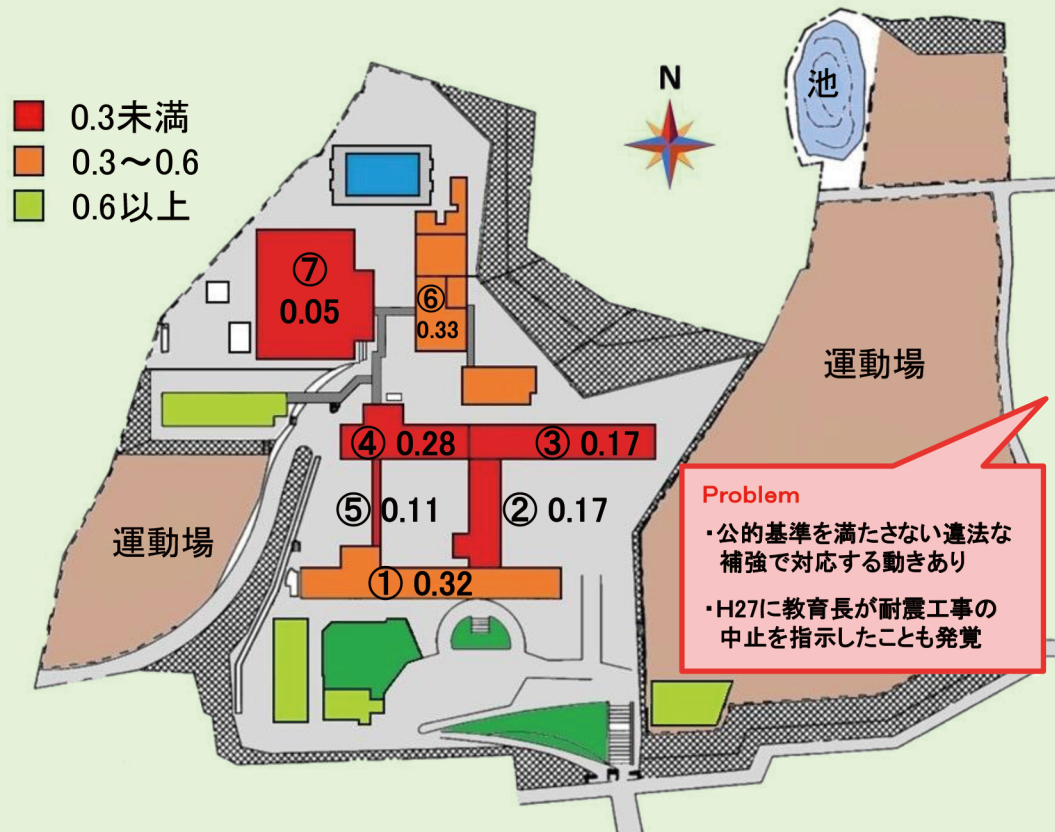
ホームページやTwitterなどでも日々の政務活動を詳しく紹介していますので、併せてご覧ください。

三橋 和史

検索

県立奈良高等学校 奈良県による耐震化放置問題

構造耐震指標(Is値) 奈高建物配置図



奈良高等学校 敷地内建物名	Is値(最小値)	Co強度(平均値)※
① 管理特別教室棟(南棟)	0.32	13.8N/mm ²
② 管理教室棟	0.17	9.4N/mm ²
③ 普通特別教室棟(北棟東側)	0.17	9.4N/mm ²
④ 普通特別教室棟(北棟西側)	0.28	10.8N/mm ²
⑤ 校舎棟の一部(渡り廊下)	0.11	11.2N/mm ²
⑥ 格技場(格技場のみ耐震化済)	0.33	22.7N/mm ²
⑦ 屋内運動場(体育館)	0.05	16.9N/mm ²

※コンクリート強度(Co強度)13.5N/mm²未満は、補強不可=要改築(建替)

国が定めるIs値基準

国土交通省は0.6以上、特に文教施設について文部科学省は0.7以上を求める。

Is値<0.3	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
0.3≤Is値<0.7	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
0.7≤Is値	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

テレビや新聞などでも連日報道 (画像は関西テレビより)



県立高校再編計画に関する三橋の主な取組み

平成30年(2018年)

- ❖ 6.25 「意見書討論演説」市議会本会議、再編計画反対 平城高存続、奈高の仮校舎の手配と現地建替を要求
- ❖ 6.30 再編計画を巡り党(維新)所属県議と対立、同県議らが請願に反対、一因となり離党・会派離脱
- ❖ 7.20 「避難所指定解除」文書質問、耐震問題を指摘
- ❖ 8.17 「市議会総務委員会にて質問
- ❖ 8.20 県教委に請願16件を提出(川田県議と共同提出)
- ❖ 8.28 奈良市が奈高の第二次避難所指定の解除を告示
- ❖ 8.29 奈良市が奈高の避難所の指定標識を取外し
- ❖ 8.31 奈良市に「行政指導等の求め」を提出(川田県議と共同提出)
- ❖ 9.10 県議会に奈高耐震化請願を提出
- ❖ 9.10 「行政指導の是非」市議会本会議にて質問
- ❖ 9.14 「市議会予算決算委員会にて質問
- ❖ 9.18 奈良市が奈良県を行政指導
- ❖ 9.25 奈良市議有志22名が緊急の抗議声明を発表
- ❖ 9.26 県教委定例会議にて請願意見陳述(川田県議と出席)
- ❖ 10.5 県議会が奈高耐震化請願を否決
- ❖ 10.7 政務調査報告会(川田県議と共同開催)